



URACからの情報提供（平成29年4月）

AMED:日本医療研究開発機構

大型基礎研究 AMED : 革新的先端研究開発支援事業 CREST・PRIME
<http://www.amed.go.jp/koubo/010720170310-01.html>

産学連携 AMED : ACT-M・ACT-MS
<http://www.amed.go.jp/program/list/02/02/035.html>

先端産学連携研究推進センター

University Research Administration Center (URAC)

公募中、まもなく公募の主な公的競争的資金等

1) 大型基礎研究

JST : 戦略的創造研究推進事業

CREST・さきがけ

AMED : 革新的先端研究開発支援事業

CREST・PRIME

<http://www.amed.go.jp/koubo/010720170310-01.html>

2) 産学連携

JST : A-STEPⅡ育成シリーズ、地域産学バリュープログラム

AMED : ACT-M・ACT-MS

NEDO : 各種公募

《公募予告》

公募期間

平成29年4月中旬～5月下旬 (予定)

公募実施予定領域

【平成29年度新規研究領域】

- **全ライフコースを対象とした個体の機能低下メカニズムの解明**
 - (1) 個体の機能低下を引き起こす要因の同定とメカニズムの解明
 - (2) 個体の機能低下の評価・制御のための基盤技術のシーズ創出

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/29/03/attach/1383137.htm

【既存研究領域】

- **宿主と微生物叢 (そう) 間クロストーク・共生の解明と健康・医療への応用**

http://www.amed.go.jp/program/list/01/07/023_10.html
- **革新的医療機器及び医療技術の創出につながるメカノバイオロジー機構の解明**

http://www.amed.go.jp/program/list/01/07/023_08.html
- **画期的医薬品等の創出をもたらす機能性脂質の総合解明**

http://www.amed.go.jp/program/list/01/07/023_09.html

公募中、まもなく公募の主な公的競争的資金等

1) 大型基礎研究

JST : 戦略的創造研究推進事業

CREST・さきがけ

AMED : 革新的先端研究開発支援事業

CREST・PRIME

2) 産学連携

JST : A-STEPⅡ育成シリーズ

JST : 地域産学バリュープログラム

AMED : ACT-M・ACT-MS

<http://www.amed.go.jp/program/list/02/02/035.html>

NEDO : 各種公募

AMED 産学連携医療イノベーション創出プログラム

本プログラムは、大学等と企業や病院等との連携を構築しアカデミア発の「技術シーズ」を産業界（企業）に円滑かつ効果的に移転する（実用化プロセスに乗せる）ための、産学連携による研究開発を「提案公募方式」によって支援する制度です。このうち、セットアップスキーム（ACT-MS）は、特に、大学等有する「早期段階の挑戦的な技術シーズ」を医療への適用を目指す企業に戦略的に受け渡すことを目的とし、当該技術シーズに関する課題等を明確化してそれを解消するための研究開発を重点的に支援する制度です。

これらにより、医療（医薬品、医療機器など）にイノベーションを実現し、AMEDが目指す3つのLIFE（生命・生活・人生）の向上を目指します。

【産学連携により医療分野における技術課題を解決】

- **ACT-M（基本スキーム）**は、アカデミア発の「技術シーズ※」を産業界（企業）に円滑かつ効果的に移転することで新しい医療（医薬品、医療機器など）の実現（実用化・事業化）を目指すための、産学連携による研究開発を「提案公募方式」によって支援。
- **ACT-MS（セットアップスキーム）**は、ACT-Mの支援対象について、特に、大学等有する「早期段階の挑戦的な技術シーズ」を医療への適用を目指す企業に戦略的に受け渡すことを目的とし、当該技術シーズに関する課題等を明確化してそれを解消するための研究開発を重点的に支援。

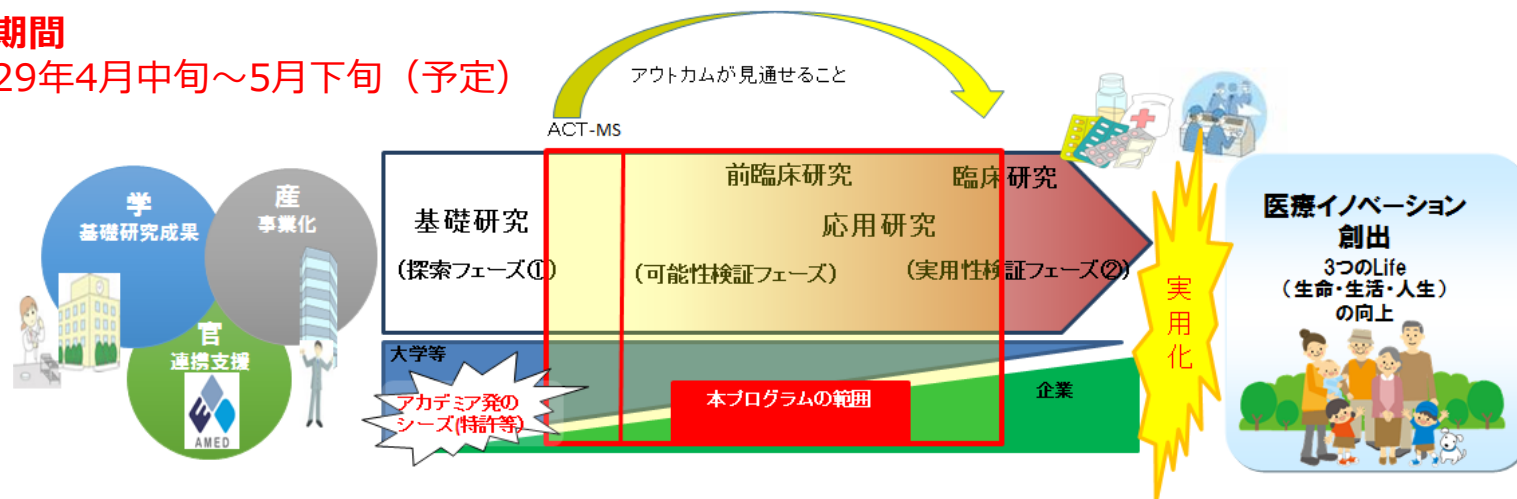
※技術シーズ：知財化あるいはその見込みが立って技術移転が可能となった研究成果

【制度概要】	ACT-MS	ACT-M
制度のねらい	「 早期段階の挑戦的な技術シーズ 」について、医療への適用のためのボトルネックを解消する。	「 探索段階を終えた技術シーズ 」について、実用化（事業化）のための課題を具体的に解消する。
実施内容	大学等が保有する 挑戦的な技術シーズ について、産学が連携して医療への適用可能性を見極めるための課題を明確化し、大学等がその解決のための技術（方法）を確立するための研究（ブラッシュアップ研究）を実施する。	企業が 実用化を目指す技術シーズ について、ヒトを対象とするPOC（Proof of Concept）の確立を目標とし、産学が役割分担（連携）して研究開発を実施する。（「可能性・再現性の検証」、臨床上の評価につなぐ「実用性の実証」）
提案形態	技術シーズを有する大学等と、その利用を希望する企業または起業家（以下「 セットアップ企業 」）による「 共同提案 」	技術シーズを有する大学等と、その実用化を目指す企業が、その臨床的利用と検証が可能となる研究開発体制を構築した「 共同提案 」
企業の役割	大学等と認識をすりあわせて 技術シーズ についてのボトルネックを明確化し、さらにそれが解消された場合の 実用化・事業化計画（ビジネスモデル） を立案・実行する。	大学等との役割分担を明確化した上で、自らも研究開発を実施する。尚、マッチングファンドではありませんが、企業が負担する予定の研究開発費用、人員経費等（以下「 企業リソース 」）を明確化し、提示する。
研究開発期間	原則2年（予算会計年度として） （実質1年6ヶ月）	原則3年（予算会計年度として） （実質2年6ヶ月）
研究開発体制	産学連携の研究開発チーム ※課題リーダー（代表応募者）は大学等の研究者	産学連携の研究開発チーム ※課題リーダー（代表応募者）は大学等、企業、どちらからでも構わない
研究開発費の目安	上限2,000万円／年	上限5,000万円／年
研究開発費の支援対象	大学等のみ	大学等、企業

産学連携により医療分野における技術課題を解決

公募期間

平成29年4月中旬～5月下旬（予定）



産学連携に「企業リソース」を効果的に活用^③

1. 探索フェーズのみ実施する研究は対象外。
2. 治験のみ実施する研究は対象外。
3. 大学等と企業の分担割合はACT-MとACT-MSで異なる

テーマ名	概要
①オープンイノベーションによる革新的な新薬の研究開発	オープンイノベーションによって、この国の薬づくりのすそ野を広げることによる革新的な新薬の創出を目的とします。たとえば、アカデミア等で顕在化した、薬の「芽」を企業等における効果的・効率的な育成を目指す研究開発や、薬づくりを支える新しい周辺技術の企業等への移転を目指した研究開発等を募集します。
②急激な少子高齢化社会を支える革新的医療技術・医療機器の研究開発	「健康寿命」と「平均寿命」の差“ゼロ”の実現をめざして、科学的根拠に基づく近未来の環境、動向に合致した革新的な医療技術等の創出を目的とします。疾患を包括的に考え、対応すべき重要な疾患について、新たな知見に基づいたアカデミア等の「シーズ」を企業との共同研究開発することにより革新的な医療技術・医療機器の創出を行うための研究開発等を募集します。

先端産学連携研究推進センター

University Research Administration Center (URAC)

ご清聴ありがとうございました

内線 7273

urac@ml.tuat.ac.jp